

【別紙様式3】

再評価実施事業調書

番号	2	事業名	道路事業		路線又は箇所名等		主要地方道越谷流山線バypass (仮称)三郷流山橋		
事業所管課		道路整備課		事業主体		千葉県			
事業化年度	平成25年度	用地着手年度	平成26年度	工事着手年度	平成30年度	再評価の理由	再評価		
				工事終了(認可)年度	平成34年度				
費用便益比 B/C	3.8 (6.5)	総費用	162億円 (95億円)	総便益	616億円 (616億円)	基準年	平成 30年度	供用開始 年度	平成 35年度

※上段：全体事業 下段（ ）：残事業

【事業概要】

本事業は、千葉県流山市と埼玉県三郷市の県境にある江戸川を渡河する新設橋梁（仮称）三郷流山橋とその前後の千葉県側取付部及び埼玉県側取付部の整備を、流山市域内の交通混雑の緩和、幹線道路ネットワークの整備による地域活力の向上を目的に、平成25年度より埼玉県と共同で進めている。

なお、全体計画としては4車線での整備であるが、建設費を集中的に投資し、事業効果を早期に発現させるため、平成30年度より有料道路事業を導入し、4車線整備の段階的整備として、先行2車線整備を行っている。

- ・総事業費：170億円【先行2車線整備】
- ・事業延長：L=1.96km（埼玉県区間：0.68km、江戸川渡河部区間：0.45km、千葉県区間：0.83km）
- ・事業期間：平成25年度～34年度

【事業の進捗状況】

平成30年度末の進捗率（予定）

事業費ベース 41%（千葉県44%） / 面積ベース 100%（千葉県100%）

【社会経済情勢等】

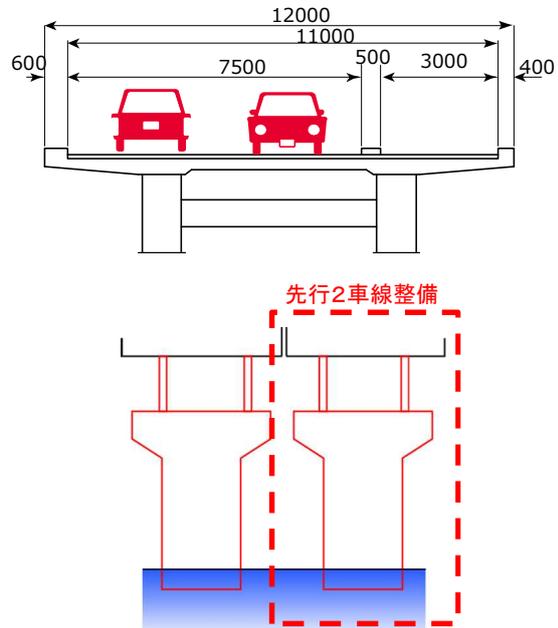
- ・流山市は、つくばエクスプレスの沿線開発に伴い、人口が増加しており、人口増加に伴い、流山市内において交通需要が増加している。
- ・つくばエクスプレス沿線地域の開発が進む一方で、流山市街地と三郷市街地の両地域は江戸川により分断されている。
- ・流山市内において、江戸川を渡河する橋梁は流山橋1橋のみであり、流山市内の交通が流山橋に集中しており、実際の交通量に対し、流山橋の交通容量が不足している状況である。

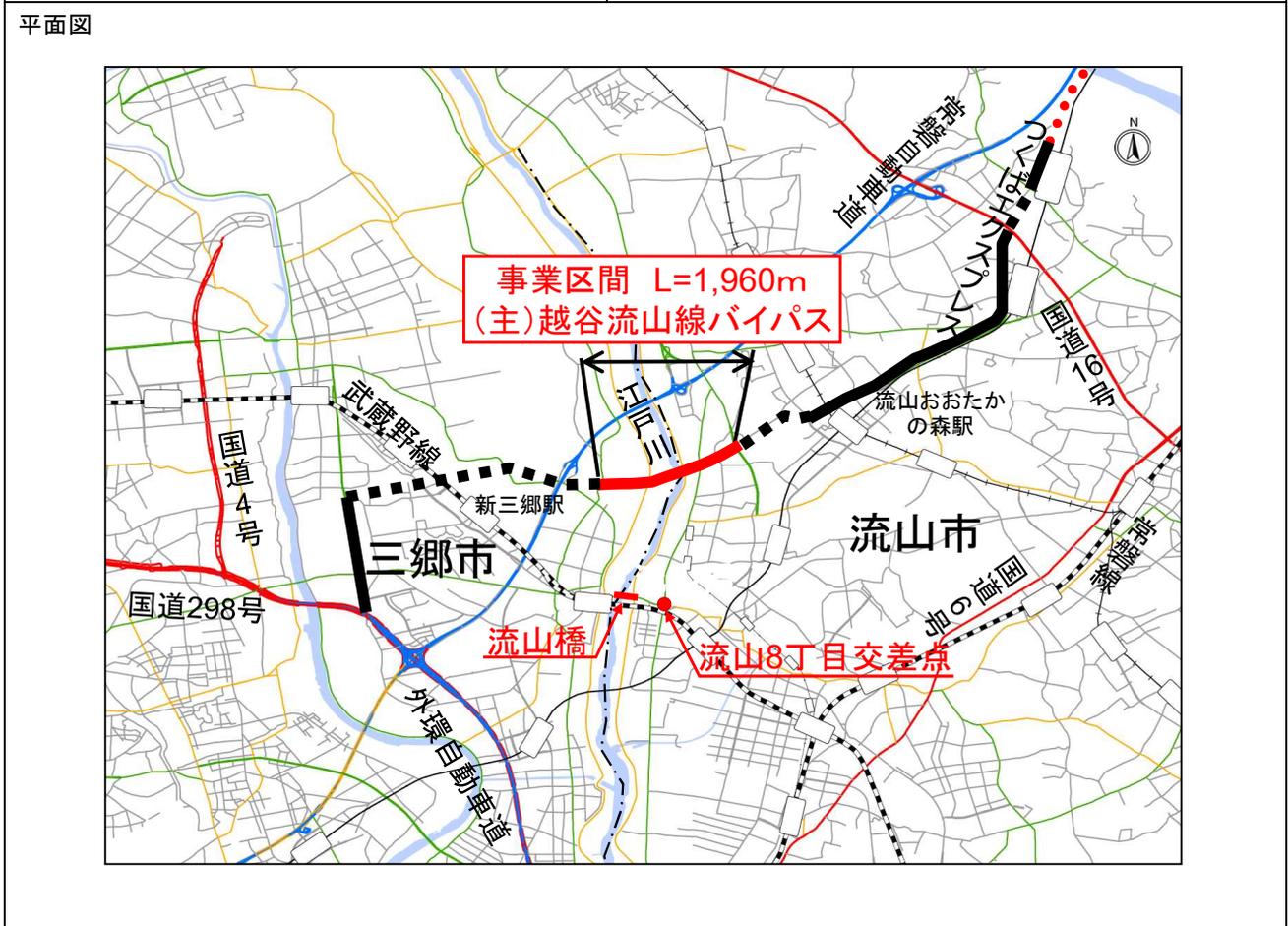
【対応方針（案）】

継 続

費用便益比（B/C）が事業全体で3.8、残事業で6.5であることから、費用対効果が見込まれ、また、流山市域内の交通混雑の緩和、幹線道路ネットワークの整備による地域活力の向上の整備効果が期待されることから、事業を継続する。

事業概要図

番号	2	事業名	道路事業	路線又は箇所名等	主要地方道越谷流山線ハ <sup>ス</sup> ハ <sup>ス</sup> (仮称)三郷流山橋
位置図	<p>標準横断面</p> 				



【別紙様式 5】

## 再評価事業に関する調査書

番 号	2	事 業 名	道路事業	路線又は箇所名等	主要地方道越谷流山線 ハイパス (仮称)三郷流山橋	
事業化年度	平成 25 度	用地着手年度	平成 26 年度	工事着手年度	平成 29 年度	
<b>【事前評価（H25年度）の概要】</b>						
事前評価実施年度 (基準年)	平成 25 年度	供用開始年度	平成 40 年度	対応方針	継続	
B/C	8.8	総費用	120 億円	総便益	1,056 億円	
事前評価時の委員会の意見及び当時の状況 ○継続することが妥当である。 ・整備効果発現のため、早期の部分供用を図る。						
事前評価時の進捗状況及び再評価時想定 of 5 年後の進捗状況						
	計 画	進捗状況	5 年後の想定進捗状況			
全体事業費	166 億円	0 億円 ( 0%)	49.8 億円 ( 30%)			
用地取得面積	40,987m <sup>2</sup>	0m <sup>2</sup> ( 0%)	40,987m <sup>2</sup> ( 100%)			
供用面積 (延長)	1,960m	0m ( 0%)	0m ( 0%)			
<b>【再評価（H30年度）の概要】</b>						
再評価実施年度 (基準年)	平成 30 年度	供用開始年度	平成 35 年度	対応方針	継続	
B/C	3.8 (6.5)	総費用	162 億円 (95 億円)	総便益	616 億円 (616 億円)	
(※上段：全体事業 下段 ( )：残事業)						
現在の進捗状況						
	計 画	進捗状況 (平成 30 年度末)				
全体事業費	170 億円	69.7 億円 ( 41%)				
用地取得面積	40,987m <sup>2</sup>	40,987m <sup>2</sup> ( 100%)				
供用面積 (延長)	1,960m	0m ( 0%)				
事前評価後の経過及び処理状況	・平成 30 年 7 月 有料道路事業としての許可がおりる					